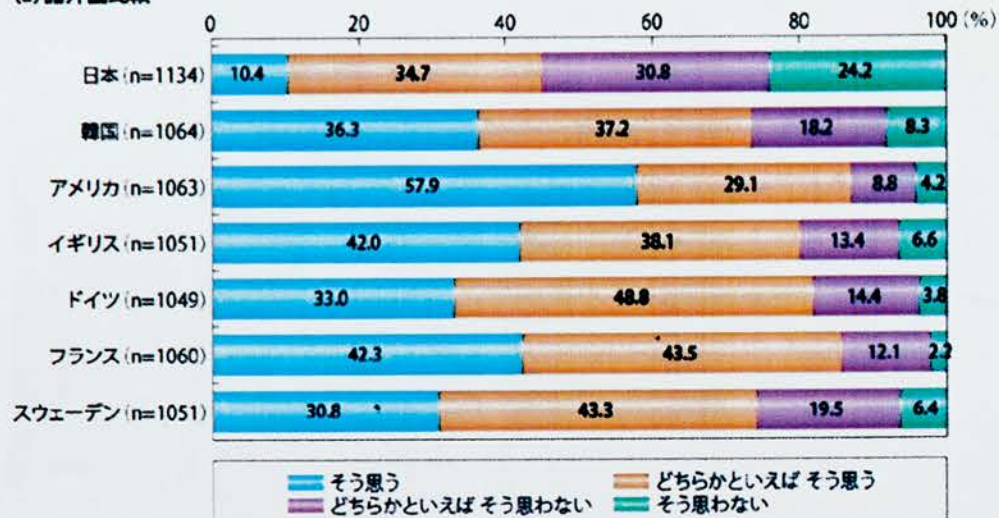


あなたの心、爆発前に教えてください

図表3 自分自身に満足している

(a) 諸外国比較



〈見つけた課題〉

日本の若者は、自分自身に満足している人が少ない傾向にあり、しばしば起こる中・高生の自殺にも影響していると考えました。

〈目指す新世代〉

- 自分の“色”を持とう! ⇒ 自分一人で悩まない
- 相手の“色”を大事にしよう! ⇒ 周囲の変化に気づき、支える

内閣府令和元年度版 子供・若者白書 (概要版) より

日本の自分に満足している若者の割合は、

アメリカより、約48% ↓ down

イギリスより、約31% ↓ down

「セーフティーネット」を提案します!

1. “気づく”を支える「五人組制度」

4~5人で男女混合グループを作ります。

人與人とのつながり(ネット)で体調や表情に表れるストレスや悩みに気づきます。

「ポイント」 チームワークを作る!

◦ 家が近い人、同じ部活の人と一緒にグループにする ⇒ 一緒に下校する日を作る

◦ 同グループの人と席を近くする ⇒ 話す機会を増やす

2. "伝える"を支える「スパイダーヘキサゴン」

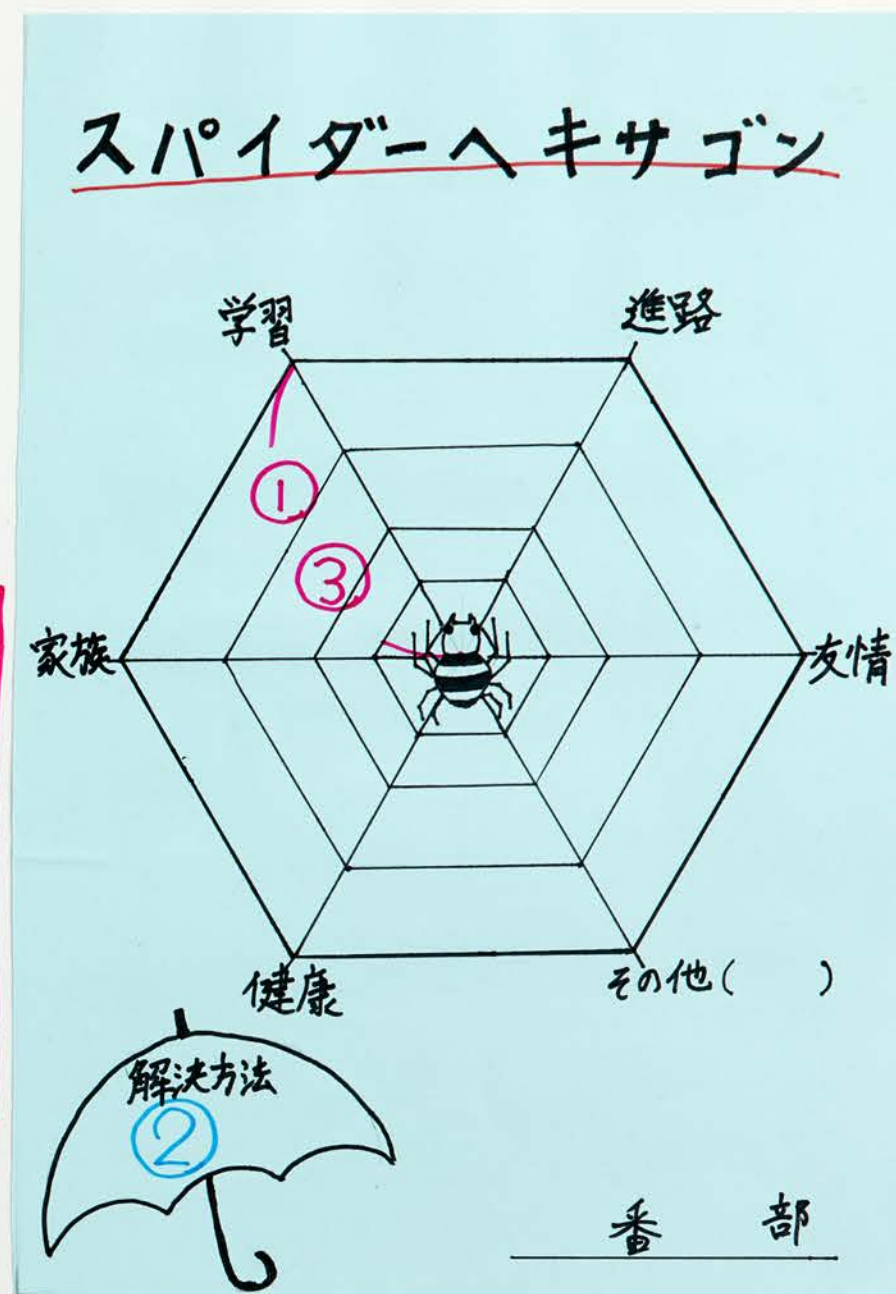
担任の先生が一目見て、分かりやすいように、形で表すアンケートです。生徒がスマートフォンなどを使って自らSOSを発信できます。

また、米沢興譲館2年生約40名で実施し、生徒や担任の先生からアドバイスを頂きました。

アンケートの改善点とその理由

	前案	改案	メリット
①	3段階	4段階	中間をなくし、段階を増やしたことで、より詳しく伝えられる。
②	聴いて欲しい先生の記入	解決方法の希望の確認	校外の機関(警察、医師など)を記入可能。
③	目盛り幅が一定	外側に行く程拡大	大きさの違いが明確になり、先生が一目で分かる。

右のイメージ図のアンケートは、ただ今ウェブ上に掲載できるように作業を進めています。このアンケートをウェブ上に作成するにあたり、現在、山形大学大学院理工学研究科湯浅哲也教授にご協力を頂いています。この場を借りて、お礼申し上げます。



★展望

「性格についての悩みも聴いて欲しい」という意見を取り入れ、より自分らしく居られるアンケートを目指します。

★届いた感想

- ・自分の悩みを整理できて良かった。
- ・自分の気持ちを測るのが難しい。

<目標とした社会>

「人」が自分自身と上手に向き合い、周りに助けを求められるようになることがこのプロジェクトがもたらす変化です。これによって、若い世代が自分の心も相手の心も大事にする、個性(色)が生きる社会を創ることができると考えています。